

平成 2 8 年 第 1 回

教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録

平成 2 8 年 1 月 8 日

平成28年第1回教育委員会定例会会議録

平成28年1月8日（金）

出席者（4名）

教育長 高部 明夫
委員 角田 徹

委員 池田 清貴
委員 須藤 金一

欠席者（1名）

委員 高橋 京子

出席説明員

教育部長・調整担当部長

山口 忠嗣

総務課長 高松 真也

学務課教育支援担当課長・指導課支
援教育担当課長・総合教育相談室長

田中 容子

指導課教育施策担当課長

所 夏目

生涯学習課長 古谷 一祐

総合スポーツセンター建設推進室

総務担当課長 向井 研一

三鷹図書館長 田中 博文

生涯学習担当部長

宇山 陽子

学務課長 桑名 茂

指導課長 宮崎 倉太郎

スポーツ振興課長・総合スポーツセンター

建設推進室長 室谷 浩一

社会教育会館長 新名 清人

指導課統括指導主事

宮城 洋之

事務局職員

副参事 本村 建二郎

主事 大塚 俊介

平成28年第1回教育委員会定例会

議 事 日 程

平成28年1月8日（金）午後2時開議

- 日程第1 議案第1号 平成28年度一般会計予算見積書について
- 日程第2 議案第2号 職員の退職に係る臨時代理の承認について
- 日程第3 第4次三鷹市基本計画第1次改定素案に係る意見について（協議）
- 日程第4 教育長報告

午後 2時00分 開会

- 高部教育長 ただいまから平成28年第1回教育委員会定例会を開会いたします。
本日の会議録の署名委員は、角田委員にお願いいたします。
それでは議事日程に従いまして、議事を進めてまいります。

日程第1 議案第1号 平成28年度一般会計予算見積書について

- 高部教育長 日程第1 議案第1号を議題とします。

(書記朗読)

- 高部教育長 提案理由の説明をお願いします。

○山口教育部長 それでは、平成28年度一般会計予算見積書についてご説明をさせていただきます。お手元の資料、平成28年度一般会計予算見積書、こちらの1ページをごらんいただきたいと思えます。

予算見積総括表でございます。表の左側、歳入でございますけれども、本年度は2億1,700万円余でございます。国庫補助事業では、学校体育館耐震補強工事の完了に伴う減、都補助金では、中学校特別教室等の空調設備整備に伴う増等、歳入全体でプラスマイナスいたしますと、対前年比で2,900万円余、約15.5%の増となっているところでございます。

次の右の表、歳出でございます。今年度41億3,500万円余でございます。対前年比3億6,000万円余、約9.6%の増となっているところでございます。

2ページをごらんいただきたいと思えます。歳出予算見積経費内訳表、予算の内訳でございますけれども、まず一番上、教育総務費は、さらなる事業の見直し、効率化を図る中で、全体としてほぼ例年どおりの事業内容となっております。

その下、小学校費でございますけれども、学校体育館の耐震補強工事の完了による減の一方で、高山小学校時限付き新校舎整備に係る事業費等を見込んでございまして、対前年比3億3,300万円余、約22.4%の増となっているところでございます。

次の中学校費でございますけれども、小学校費と同様に、学校体育館耐震補強工事の完了による減の一方で、第一中学校給水管改修工事費等により増を見込んでございまして、5,800万円余、約7.3%の増となっております。

社会教育費でございますけれども、大沢二丁目古民家（仮称）整備事業等により増を見込む一方で、図書館システム導入の完了等による減によりまして900万円余、約1.8%の減となっております。

保健体育費につきましては、市役所敷地内に整備を予定してございまして和洋弓場の整備に向けた設計費等を見込む一方で、中原スポーツ児童遊園整備の完了等に伴う減によりまして1,200万円余、約5.3%の減となっているところでございます。

説明は以上でございます。

- 高部教育長 以上で提案理由の説明は終わりました。委員の皆様の質疑をお願いいたします。いかがでしょうか。事項別の経費列挙ですので、ちょっと事業内容と事業項目が

つかみにくい部分があるかと思いますが、先ほど協議会で質問した高山小学校の給食室の改修にかかる経費というのは、この事項別でいえば、どこの部分に該当するのでしょうか。

○高松総務課長 工事については、7ページの2項小学校費の1目学校管理費の施設改修事業費になります。

○高部教育長 わかりました。学校衛生費ではなくて学校管理費なんですね。

○高松総務課長 そうです。

○高部教育長 わかりました。ほかにいかがでしょうか。先ほどの債務負担行為というのは、一番最後の12ページのところに一覧で示しております、こんなふうに期間が将来的にまたがって複数年になっています。

○角田委員 いいですか。その債務負担行為の期間で、例えば平成29年度しか書いていないのは、28年度、29年度という2年間だからですか。

○高部教育長 はい、総務課長。

○高松総務課長 上から2段目にございます学校機械警備業務委託料については、29年4月からの警備業務等委託について契約をするために、28年度中に契約をするための予算ということでご理解をいただければと思います。

○角田委員 わかりました。

○高部教育長 これは単年度の事業ですが、29年度の当初予算で組むとすると、もう1年後の29年の3月議会で確定することになります。しかし、そうすると準備行為として入札手続きをとったりということが間に合わなくて、28年度中から取りかからなくてはいけないということで、対象は29年度だけれども、28年度予算の債務負担行為で組んでいく必要があります。つまり、単年度事業であっても、前倒しの部分については債務負担という考えです。

よろしいでしょうか。ほかに。はい、どうぞ、池田委員。

○池田委員 6ページの下から4段目の19番目、小学校外国語活動アドバイザー活用事業費というのが前年度80万からゼロになっている。そもそもこのアドバイザーというのは、どういうお立場の方で、これが減っているというのは何か理由があるのでしょうか。

○宮崎指導課長 これは都の事業を活用したという形ですけれども、英語の堪能な人物を小学校外国語活動アドバイザーとして小学校に派遣して、具体的には、授業を見て、それについて指導、助言するといったことをやっています。今年度は15校に対して、第5学年、第6学年の担任の授業を全部見て、そして指導していく。これは以前から、三鷹市の教員として外国語活動に堪能であった教員を1名充てて基本的にはやっているということでございます。予算は1年ということで、今年度で成果があったということで終了という形になっております。

○池田委員 学校訪問するときにお見かけするネイティブの方ではないわけですか。

○宮崎指導課長 ALTの方ではないです。あれは授業に入っていますけれども、この事業では授業の指導についてのアドバイスをすることになります。子どもに直接指導するというのではなくて、教員に対する研修といいますか、指導をするということ

す。

○高部教育長 次期の学習指導要領では、小学校段階で5年生から英語も必修化されるだろう、教科化されるだろうということで、中学校の英語教諭は専科ですけれども、小学校は担任が指導しなければいけない。やはり先生方のレベルアップが必要だろうということで、東京都がこうやって委託事業で行ったんですけれども、確かに基礎自治体からすれば、学習指導要領を改訂して本格実施するまで継続して経費を計上していただきたいという気はいたしますけれども、成果が上がって、指導方法だとか教材も含めて一定程度行き渡りましたので、この事業は終わったということだと思います。またおそらく次の段階、学習指導要領が実際に改訂されて実施年度の平成32年度になるまでには、東京都は先行実施と言っていますから、もうちょっと前になるとは思いますけれども、次の対策を期待したいところであります。

○宮崎指導課長 よろしいですか。

○高部教育長 はい、どうぞ、指導課長。

○宮崎指導課長 今おっしゃっていましたように、新しい学習指導要領では、小学校の第3学年から必修という形を今予定しているところです。それを受けて、東京都でも積極的には取り組んでいます。例えば、小学校の教員の中から中学校の英語の免許も取るような補助をするとか、それはもちろん限られますけれども、その予算化なども今考えているところですから、具体的にそういう策は幾つか出てきて、これを活用しながら三鷹市としてもやっていきたいと思っています。

○高部教育長 今のところ国の検討状況は、英語活動は3年生からで、教科としての英語は5年生からという整理ですね。

三鷹は、実質、今は1年生から活動しているということですので、制度化されれば、もうちょっとレベルアップというか、強化していかなければいけないという状況ですね。

○池田委員 ALTの方というのは、今後も続いていくということでいいですか。

○宮崎指導課長 三鷹は非常に手厚く随分前から市の予算を使ってやっているところですが、今の段階では、それは継続していく予定になっています。

○高部教育長 これは悩ましいところなんですけれども、ALTは、先ほど言ったように、三鷹市が独自の活動として小学校1年生から英語活動をするためにネイティブをということで、必要な時間数を配置しており、トータルしますと年間5,000万ぐらいかかっています。一方では、国に制度化の動きがあって、本来はアシスタントですから、教員がしっかり指導しなければいけないということなので、ALTも時間数そのまま100%つけていくかどうかというのは、充実との見合いで段階的に検証していく必要があります。

ほかにはいかがでしょうか。どうぞ、角田委員。

○角田委員 4ページの3の委託金、5目の3のオリンピック・パラリンピック教育推進校事業委託金なんですけれども、教えていただきたいのですが、オリンピック・パラリンピック教育を推進しようということで始めて、これが別の形で事業になったのでゼロになったのでしょうか。この辺の経緯を教えてください。

○高部教育長 はい、指導課長。

○宮崎指導課長 東京都としては、平成28年度から全校がオリンピック・パラリンピック教育の推進をしていくんだということで、一旦、この名称での事業はなくなります。ただ、東京都でもそれなりの手当については検討しているところであると聞いていますので、それがまた出てきた段階で考えてまいりたいと思います。

○高部教育長 ただ、それも非常に残念な話なんですけれども、東京都はオリンピック・パラリンピックに向けて相当いろいろな、観光も含めて、産業も含めて、インフラ整備も含めて強力に取り組むということ、知事の年頭挨拶にも、まず、オリンピック・パラリンピックなんです、全校展開と力を入れていくという中で、東京都も今、当初予算、知事査定が始まる今の段階で、全くメニュー、プログラムが示されないというのはいかなものかなと思います。これもまた補正予算ということになれば、予算がついて、三鷹市でまた6月で上程し、可決されても、それから事業を組んでスタートするというのは、実質1学期は使えない、半年遅れになってしまうわけですね。しかし、今の段階では、特別、継続するような新しいメニューはついていないということです。

ほかにいかがでしょうか。はい、須藤委員。

○須藤委員 5ページの歳入のところですが、一番上の財産収入のところの電力売払収入、これは電力を売っているということですか。売電をしているということなんですか。

○高部教育長 はい、学務課長。

○桑名学務課長 学校で太陽光発電を導入している第三小学校と東台小学校の売電の収入になります。

○須藤委員 ということは、新たに今回太陽光発電を設置すると先ほどお話がありましたけれども、あれも電力を売るわけでしょうか。

○高部教育長 南浦小と三中のケースでは、そういう余剰電力というのはどうなりますか。はい、総務課長。

○高松総務課長 今計画をしております太陽光発電設備の整備については、あわせて蓄電池を置くということとしておりまして、非常時、災害時に避難所として運営されるときにもしっかり活用できるようなことも考えておりまして、特に売電については予定をしております。

○高部教育長 今の三小と東台小は特に蓄電池がないので、賄う以上の分で発電できた場合については即売電していくという仕組みで、ここは入ってくるということなんですね。

○高松総務課長 そのとおりです。

○高部教育長 よろしいでしょうか。

○須藤委員 はい、わかりました。

○高部教育長 ほかにいかがでしょうか。

ほかにご質問、ご意見等がなければ、採決をいたします。

議案第1号 平成28年度一般会計予算見積書については、原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○高部教育長 異議なしと認めます。本件は原案のとおり可決されました。

日程第2 議案第2号 職員の退職に係る臨時代理の承認について

○高部教育長 日程第2 議案第2号を議題といたします。

(書記朗読)

○高部教育長 提案理由の説明をお願いいたします。

○高松総務課長 議案第2号 職員の退職に係る臨時代理の承認についてご説明をいたします。3ページをごらんください。こちらは、職員人事のうち、課長補佐職以上、いわゆる管理職の職員の人事発令につきましては、通常、教育委員会の議案として付議をさせていただいているところでございますけれども、今回、職員の退職につきまして、会議を招集する時間的余裕がなかったことから、教育長の臨時代理により決裁を行いましたので、ここでご報告をさせていただきます。ご承認をいただくという議案となっております。

5ページをお開きいただきますと、議案の参考法令としまして、教育長の臨時代理に係る規定を掲載しておりますので、ご参照いただければと思います。

内容ですけれども、4ページをごらんください。三鷹市教育委員会副参事 大塚穂高さん、図書館長補佐で三鷹市立南部図書館分館長の事務取扱をしておりました職員でございますけれども、この方から一身上の都合により退職願が提出をされましたので、平成27年12月31日付けで辞職を承認したというものでございます。

なお、南部図書館分館長につきましては、1月1日付けで係長職の職員を配置しているところでございます。

提案理由の説明は以上でございます。

○高部教育長 以上で提案理由の説明は終わりました。委員の皆様の質疑をお願いいたします。よろしいでしょうか。

ご質問、ご意見等がなければ、採決をいたします。

議案第2号 職員の退職に係る臨時代理の承認については、原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○高部教育長 異議なしと認めます。本件は原案のとおり可決されました。

日程第3 第4次三鷹市基本計画第1次改定素案に係る意見について (協議)

○高部教育長 日程第3 第4次三鷹市基本計画第1次改定素案に係る意見についてを議題といたします。

初めに、事務局から説明をお願いします。はい、教育部長。

○山口教育部長 それでは、第4次三鷹市基本計画第1次改定素案に係る意見についてでございます。6ページをごらんいただきたいと思います。平成27年12月18日付けで市長から教育委員会教育長あてに第4次三鷹市基本計画第1次改定素案についての意見聴取の依頼がございました。

この第4次三鷹市基本計画の改定作業のこれまでの経緯につきましては、まず、平成2

7年9月の教育委員会の中で、骨格案の案について、改定箇所を中心にご説明をさせていただきました。また、10月から11月にかけて、広報特集号による市民アンケートの調査によって幅広く市民の皆様から計画についてのご意見をいただいていたところがございます。11月16日には総合教育会議が開催されましたので、教育大綱策定に向けた協議の中で、計画の、特に6部、第7部を中心に教育委員の皆様からご意見、ご指摘をいただいていたところがありました。それぞれの場でいただきましたご意見、ご指摘を反映いたしまして、第4次基本計画第1次改定素案の案として、昨年12月の教育委員会で修正点を中心にご説明をさせていただきました。

今回の素案につきましては、市において、これまでの経過を踏まえた調整を加えた上、素案の案の案をとるとともに、議会へ報告の後、昨年、大変、年が押し迫ってからになってしまいましたけれども、委員の皆様は資料としてお送りをさせていただいたところがございます。今回の回答期限は平成28年1月29日となっておりますけれども、本日、教育委員の皆様から、これまでいただきましたご意見、ご指摘に加えまして、新たにご意見等をいただいた場合には、本文の修正についてメール等で確認させていただきながら、修正箇所の内容について市長部局に回答をさせていただきたいと思っております。

また、改めてのご意見、ご指摘がなければ、その旨の回答をさせていただきたいと考えてございますので、よろしくお願いをいたします。

今後でございますけれども、今月の12日から2月1日までの期間でパブリックコメントを実施いたしまして、その反映等を経て、3月に最終的に計画を確定する予定でございます。

以上でございます。

○高部教育長 以上で事務局からの説明は終わりました。委員の皆様は質疑、ご意見を願います。角田委員。

○角田委員 今後なんですけれども、2月1日までにパブコメを受けて、ある程度変更や意見が出たものに関して、教育委員会に関係するところはフィードバックされるということは予定されているのでしょうか。

○高部教育長 はい、教育部長。

○山口教育部長 最終的に第6部、第7部について市民の方からご意見があつて、それを計画の中に具体的に反映をさせるという部分があるとすれば、それについてはまた改めてご報告をさせていただきます。

○高部教育長 ほかにいかがでしょうか。

私から1点。これまでも教育委員会でも何回か協議をしながら意見を反映しながらまとめてきたところなんですけれども、255ページのところで、推進事業の4段落目の川上郷自然の村の利用拡大と効率的な運営ということで、これまで抜本的なあり方の検討ということで市長部局等も含めたプロジェクトチームで多角的な検討を含めて検討してきた経過があると思います。この第4次計の素案の中では、結論として、引き続き校外学習施設、市民保養施設として活用を図る。その中で効率的な経営改善を図っていくというまとめになっていますが、今までに、このことの報告なり議論は、確認的に行われた経過がありました。

か。

○山口教育部長 A3の資料でご説明はさせていただきました。

○高部教育長 この方向は、もう確認されているということによろしいですね。

○山口教育部長 そのように考えております。

○高部教育長 わかりました。今回、最終的に追加させていただいたのは、247ページの中段あたりになりますけれども、三鷹らしい教育の実現をめざす教員の人財育成というところで、これまでも学校人財育成方針に基づいて、三鷹市として必要なキャリアを養成していくということを記述しておりましたけれども、後半の部分で、教育公務員としてのコンプライアンスの意識啓発を行い服務規律の徹底を図りますということ、今までも実施計画、事業計画の中では入っていましたけれども、基本計画まで上げて、この中で市全体としてそれを計画として掲げて確認をしていくことにいたしましたので、ご了解をいただければと思います。

ほかにかがででしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、ご質疑、ご意見等がほかになれば、確認をいたします。

第4次三鷹市基本計画第1次改定素案に係る意見についてをご審議いただきましたけれども、特に異議はない旨回答することをご了解いただけますでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○高部教育長 ありがとうございます。それでは、本件については、委員の皆様のご了解をいただいたものといたします。

日程第4 教育長報告

○高部教育長 引き続き日程第4 教育長報告に入ります。

各課報告をお願いします。総務課。

○高松総務課長 資料の8ページ、9ページになります。8ページの実績と報告につきましては、記載のとおりでございます。

9ページの予定等報告ですけれども、1月12日、13日に文部科学省主催の市町村教育委員研究協議会が開催をされる予定でございます。

また、1月20日ですけれども、本年度最後の教育委員会学校訪問を第六小学校で実施をいたしますので、よろしく願いいたします。

その他につきましては、記載のとおりでございます。

続きまして、10ページ、11ページ、こちらが教育センターと施設係関係の実績の予定等報告になります。主な設計委託、また工事関係につきまして記載のとおりでございます。現在、順調に進捗をしているところでございます。

総務課からは以上です。

○高部教育長 学務課、お願いします。

○桑名学務課長 学務課です。12ページ、13ページをごらんください。12ページ、実績でございますけれども、12月1日から3日にかけて、学校給食の放射性物質検査を実施しました。児童・生徒に提供した給食一食丸ごとを検査機関である一般財団法人

日本食品分析センターに委託をして検査をいたしまして、1学期には22校中13校実施しましたが、残り9校について検査を実施しております。いずれも放射性物質は検出されませんでした。

なお、結果につきましては、ホームページで公表しております。

次に、本日、席上に協定書の写しをお配りさせていただきましたが、21日に学校給食における市内産野菜活用のさらなる推進に向けて、三鷹市、三鷹市教育委員会、東京むさし農業協同組合三鷹支店の3者によりまして、協定の締結式が行われました。当日は市長、教育長、農協三鷹支店の小林三鷹地区統括支店長のほか、三鷹地区青壮年部長である須藤委員、青壮年部学校給食部会長、野菜生産組合長、こちらに出席をしていただきまして、使用率向上の具体的な方策の検討を行うということを確認したところでございます。

13ページの予定ですが、1月13日には、学校給食における市内産野菜活用推進連絡協議会を開催する予定でございます。今後、協議会の中で使用率向上に向けた協議を進めてまいります。

そのほかは記載のとおりでございます。

学務課からは以上でございます。

○高部教育長 それでは、指導課、お願いします。

○宮崎指導課長 指導課長です。14ページ、15ページをごらんください。まず、12月3日に文部科学省において、三鷹中央学園コミュニティ・スクール委員会が表彰をされました。このことについて、後で所担当課長から資料をもとに説明をさせていただきます。

続けて、8日に教育ボランティア養成講座入門編というのがございますけれども、北野小学校で実施をしております。こうやって現地の学校で具体的に授業を見たりしながら、養成講座についての入門編を行いました。そのほかの養成講座においても、第二小学校や北野小学校等で行っているものがございますので、今年度はこのあたりを強調していったところでございます。

あとは記載のとおりです。

右側、15ページをごらんいただきますけれども、1月13日から中学校の自然教室が始まります。第七中学校がスタートとなります。

また、1月15日には教育課程届出、つまり28年度の教育課程の届出に関する説明を教育委員会から行う説明会を実施することになっております。

それから、18日月曜日ですけれども、服務事故防止研修、副校長対象となっております。この後、25日月曜日には校長対象、そして2月1日月曜日には主幹教諭、指導教諭、主任教諭を対象とした研修を実施いたします。昨年からの不祥事にかかわりまして一層服務事故の防止について啓発していくということで研修を行ってまいります。

なお、校長及び副校長の研修に関しましては、東京都教育委員会から管理主事等を講師に招きまして指導をしてもらうという形になっております。

そのほか、私から2つの資料をお配りさせていただいております。まずはA4の横長のものです。平成27年度研究指定校等の発表会等の予定一覧ということで、それぞれ書い

てございますけれども、若干の説明を加えさせていただきたいと思います。

まず、言語能力向上拠点校、第二小学校、第三中学校ですけれども、これは伝統的な言語文化の理解や社会生活に役立つ言語の技能の育成を重視した具体的な取り組みを推進するために東京都教育委員会が指定しているものでございます。指定期間については1年間となっております。

そして、第二小学校につきましては、国語科の授業改善を中心とした実践を行ってございまして、特に文学作品を豊かに読み取る力を育むために読む観点を子どもたちに示したり、ペア学習、グループ学習などの学習形態を工夫するなどして言語能力の充実を図るさまざまな実践に取り組んでおります。

また、第三中学校ですけれども、各教科の指導だけではなくて、学校行事における言語活動の充実や図書委員会が企画したビブリオバトルの実施、1年間を通して朝の10分間読書の取り組みなど、学校教育全体の中で幅広い実践を行ってきたところでございます。

続いて、教育研究奨励校、連雀学園ですけれども、教育奨励校は市の教育制度でございまして、指定期間を1年間としています。連雀学園は平成25年度から学園で独自に研究を進めてございまして、3年目にあたる今年度、研究奨励校となりました。3年間を通して知的コミュニケーションというものをテーマにしてございまして、子どもたちがコミュニケーションを通して問題解決に取り組む授業づくりについて研究を行ってございます。

続いて、第一小学校の日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成事業でございまして、これも東京都の事業になってございまして、外部人材や都立高校に配置されている外国人指導助手（JET）を活用して伝統・文化教育の充実を図るというものです。一小ですけれども、以前から新川雛子の体験というものは取り組んでございまして、これに三鷹中等教育学校に配置されている外国人指導助手（JET）を招いて交流を行っていく予定になってございます。

続いて、ICTを活用した授業モデル研究、南浦小学校でございまして、これは民間企業の協力を得まして南浦小学校で実施をしている授業研究です。次期学習指導要領に向けて重視されているアクティブラーニングの充実のために、タブレットPCがどのように活用できるのかを実践を通して研究してございます。2月26日には、実際にタブレットPCを使った授業を公開する予定になってございます。

最後に、第七小学校で取り組んでおります我が国の伝統・文化教育の充実に係る調査研究でございまして、第七小学校の伝統・文化の調査研究ですけれども、これは文部科学省の指定を受けた事業でございまして、地域に伝統的に受け継がれている伝統行事や芸能などが強いものがない、そういった地域でも効果的に学習を進めることのできる指導方法の開発に取り組んでございます。七小では、昨年の秋に歌舞伎と能楽を題材とした学習を実施してございまして、その様子について、資料をもとに報告を行う予定となっております。

このA4の横の予定一覧については以上でございまして。

続いてもう1枚、資料、縦長の平成28年度三鷹市立小・中学校の儀式的行事等の日程についてというものを置かせていただきました。来年度の入学式と卒業式の日程を記述してございまして、三鷹では、小学校は、入学式は午後というのが大分定着してきたかなとい

うところでございます。あとの残りの儀式的行事については、入学式、卒業式については、中学校、それから卒業の小学校、中学校については午前という形になっております。

また、あわせて、始業式、終業式、修了式について、各学期について記述をしております。

私からは以上です。

○高部教育長 所教育施策担当課長。

○所指導課教育施策担当課長 文部科学大臣表彰のご報告です。12月3日に優れた「地域による学校支援活動」の功績が認められ、昨年度の連雀学園に引き続きまして、今年度は三鷹中央学園コミュニティ・スクール委員会が文部科学大臣表彰を受賞いたしました。この表彰は、社会全体の教育力の向上のため地域が行う学校支援活動のうち、特に優れている活動に対して毎年行われるものです。三鷹中央学園コミュニティ・スクール委員会は、東日本大震災以来、地域の防災意識を高めるためコミュニティ・スクール委員会と学園の教員による地域協働型の防災事業の実施など、学校や家庭、地域が連携して行う多様な取り組みが高く評価され、今回の受賞となりました。

なお、授賞式では、全国136団体の代表として、三鷹中央学園コミュニティ・スクール委員会の会長が文部科学大臣から直接表彰状を受けました。

報告は以上です。

○高部教育長 それでは、次、生涯学習課、お願いいたします。

○古谷生涯学習課長 生涯学習課は16ページ、17ページでございます。まず、16ページの実績でございます。12月は、基本的には秋の家庭教育学級の最終月ということで実施いたしました。

20日には、夏に養成しました文化財市民協力員の「餅つき唄」を国立天文台の星と森と絵本の家のお披露目したということで、新聞などにも掲載をしていただきました。

それ以外は記載のとおりです。

今後の予定、17ページでございますけれども、来週の月曜日、1月11日でございますけれども、成人を祝福するつどい、公会堂光のホールで実施する予定でございます。教育委員の皆様、4名の方にお越しいただければということで、お願いしたいと考えております。また、対象人数は、ことしは1,855人ということで、約半数の928人ほどがおそらく参加されるのではないかという見込みでおります。式典の部は、1時からスタートいたしまして、2時半までということで予定をしております。その間、ふれあいの部というものを並行して3時半まで実施する予定になっております。

また、17日でございます。考古学講演会「縄文vs旧石器」ということでございますけれども、縄文時代と旧石器につきまして、文化財保護審議会の委員でございます中央大学の小林謙一先生、早稲田大学の長崎潤一先生にお越しいただきまして、専門家のお二人からそれぞれの特徴をお話いただくという講座をやる予定でございます。

また、31日でございますけれども、エコミュージアム入門講座、第1回といたしまして、昨年に続いて第2弾でございますけれども、「古文書寺子屋みたか村」ということで、箕輪家文書について読み書きをするという学習をする予定でございます。

生涯学習課からは以上でございます。

○高部教育長 次、スポーツ振興課。

○室谷スポーツ振興課長 お手元の資料18ページと19ページをごらんください。まず、18ページの実績等報告でございますけれども、一番上段の12月3日木曜日、みたかスポーツフェスティバルの第3回実行委員会がございまして、こちらは10月に開催されたフェスティバルのよかった点、悪かった点、来年度に向けての建設的なご意見等、貴重なご意見をいただいたところで。

1つ飛んで、13日日曜日、「東大の馬に会おう！『三鷹愛馬の日』」ということですが、こちらは東京オリンピック・パラリンピックの気運醸成補助金を活用いたしまして、大沢にございます東京大学の馬術部の馬場、馬術部員の指導のもと、まず前半は特別養護老人ホームどんぐり山の食堂をお借りして、オリンピックの歴史の紹介ですとか、馬術競技の種目の紹介、そして馬の習性などの座学を行いまして、その後、歩いて東京大学の馬術部の馬場に行きまして、模範演技から始まって、えさやり体験、そして乗馬体験ということで、約40名の親子の参加により非常に好評を得たところでございます。

そのほかは記載のとおりでございます。

そして、19ページの予定等報告ですが、下から2段目、1月21日木曜日に、こちらは市民駅伝大会の第3回実行委員会ということで、こちらも来年度に向けての課題等々、反省会的な要素で開催する予定でございます。

そのほかは記載のとおりでございます。

以上です。

○高部教育長 総合スポーツセンター建設推進室。

○向井総合スポーツセンター建設推進室総務担当課長 特にございません。

○高部教育長 それでは、次に社会教育会館、お願いします。

○新名社会教育会館長 社会教育会館でございます。20ページ、21ページをごらんください。実績でございますが、12月5日、6日に第47回社会教育会館のつどいを開催いたしました。こちらは参加団体が35団体でございまして、実際の来館者が2日間合わせまして5,400人を超えるということで、昨年度を上回る盛況となったところで。

引き続き、12月10日にこちらのつどいの企画実行委員会を行いまして、今申し上げました実績等について確認、共有するとともに、来期開催に向けて意見交換をさせていただいたところでございます。

その他の実績と行事予定については、記載のとおりでございます。

会館は以上でございます。

○高部教育長 図書館、お願いします。

○田中三鷹図書館長 図書館でございます。22ページ、23ページをごらんください。まず、行事の実績等報告でございます。現在、12月8日から4月3日までにかけて名誉市民となられた津村節子さんに関連する展示を「作家 津村節子の世界～夫 吉村昭とともに」というタイトルで実施をさせていただいております。これまで津村節子様とは二度の打ち合わせと、きのうなんです、本館に津村節子さんがいらっしゃって、現在の展示

をごらんいただきました。2月2日からは、津村様から写真、原稿、執筆活動に使われた品々、また、市民に向けたメッセージを書いていただいて、展示の内容を充実させた形でさらに展示を行っていきたいと考えております。

イベントですが、12月19日土曜日、三鷹市文庫連絡会共催事業で講演会を実施させていただきました。こちらは当初定員を超えて来場者がありましたので、急遽、席を増設して140人の大盛況の中で行われました。ただ、それ以上にまだ来場者があったために、入場をお断りするような状況での実施となっております。

23ページをごらんください。行事の予定等報告でございますが、1月14日木曜日、三鷹市立図書館協議会で小平市立仲町図書館の視察に行つてまいります。こちらの施設は、世界的建築家の妹島和世さんが設計した特徴的なデザインの施設となっております。また、武蔵野美術大学と共同し施設のイメージづくりをした点の特徴点もあることから、こちらの図書館の視察に行つてまいります。

以上でございます。

○高部教育長 以上で報告は終わりました。委員の皆様の質疑をお願いいたします。

スキー場の雪が不足しているようですが、自然教室は大丈夫ですか。

○宮崎指導課長 今のところは特に問題ありません。自然教室で使用しているスキー場は人工降雪も使っているかと思っておりますので、何とかなるのかなと思っております。

○角田委員 気温さえ低ければね。あそこはほとんど降らないですね。

○高部教育長 正月は、全国的にスキー場は雪がないという話でしたから。

○山口教育部長 年末川上村に伺ったときは、人工降雪を含めてもかなり厳しいようなことはおっしゃっていましたが、その後どうなったかということですが。

○高部教育長 来週あたり、寒波が来るそうですけれどもね。ほかにはいかがでしょうか。

○宮崎指導課長 申しわけありません。追加で1件報告いたします。15ページのところで、2つ行事がございまして、15ページの下、1月26日から2月5日まで中学校書初展が教育センターで、同じく27日から30日まで小学校の図工展が芸術文化センターで行われております。市内の小・中学生の作品が展示をされますので、もしよろしければ、皆様、足を運んでいただけたらありがたいなと思っております。

○高部教育長 いかがでしょうか。

○角田委員 15ページで、サービス事故防止研修をそれぞれの役職を対象に行っていますね。内容は書いてあるのですけれども、どのくらいの時間で、どのくらいの内容なのか簡単に教えていただければと思います。

○宮崎指導課長 校長、副校長につきましては1時間30分、90分の予定でございます。それから、主幹教諭、指導教諭、主任教諭は授業がありますので、午後3時半から4時45分、つまり1時間15分ということで予定しております。

○角田委員 内容はいかがですか。

○宮崎指導課長 内容につきましては、今回、管理職につきましては、まずサービス事故の基本的な部分からアンテナを高くしてしっかりやっていかなくはないということで、校長は校長、副校長は副校長としてのそれぞれの役割があるかと思っておりますので、その部

分での具体的な職場の環境づくりですとか、指導のあり方ですとか、そういうところについての講義を予定しています。講義だけではなくて、演習も行っていただきたいということで講師にお願いをしております。

それから、さらに主幹教諭、指導教諭、主任教諭ですけれども、管理職だけが声を上げて指導していくということでは、なかなか職場の風土というものが変わってこない部分もあるかと思えます。東京都では主幹教諭、指導教諭、主任教諭という職層を設けているわけですので、それぞれの職層に期待される公務員としての、本人ももちろんそうですけれども、周りの教員に対する指導、助言というところが必要になってまいりますので、そここのところの意識啓発をしっかりやっていきたいと思っています。

○角田委員　そういう研修的な、つまり上からやりましょうという話ももちろん重要だと思うのですが、現場の先生方の声とか、相互のコミュニケーションのような、そういったものをきちんと拾える機会というものもあるのでしょうか。

○宮崎指導課長　そのような形でやっていきたいと思っています。それぞれの悩みもあると思えますし、いい取り組みをしている例もあるかと思えますので、そういうところについて情報交換していくということです。

○角田委員　ありがとうございます。

○高部教育長　ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、日程第4 教育長報告を終わります。

以上をもちまして、平成28年第1回教育委員会定例会を閉会いたします。

午後 2時51分 閉会